

Economic Indicators

発表日: 2021年5月31日(月)

小売業販売額(2021年4月)

～緊急事態宣言の影響で4月の財消費は下振れ。目先も下押し圧力が続く～

第一生命経済研究所 経済調査部

副主任エコノミスト 奥脇 健史 (TEL: 03-5221-4524)

(単位: %)

| | | 小売業販売額 | | 各種商品 | 織物・衣服 身の回り品 | 飲食料品 | 自動車 | 機械器具 | 燃料 | その他(含む医 薬品・化粧品) |
|----|-----|--------|--------|--------|----------------|-------|--------|--------|--------|--------------------|
| | | 前月比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| 20 | 1月 | 1.1 | ▲ 0.4 | ▲ 3.4 | ▲ 0.9 | 0.5 | ▲ 1.7 | ▲ 2.8 | 0.2 | 0.8 |
| | 2月 | ▲ 0.3 | 1.6 | ▲ 4.6 | ▲ 3.5 | 3.6 | ▲ 1.1 | 1.9 | 2.8 | 4.0 |
| | 3月 | ▲ 3.0 | ▲ 4.7 | ▲ 20.9 | ▲ 22.7 | ▲ 0.6 | ▲ 1.4 | ▲ 7.1 | ▲ 6.4 | ▲ 1.1 |
| | 4月 | ▲ 10.3 | ▲ 13.9 | ▲ 42.9 | ▲ 54.1 | 0.3 | ▲ 23.7 | ▲ 13.5 | ▲ 22.1 | ▲ 4.7 |
| | 5月 | 3.0 | ▲ 12.5 | ▲ 35.2 | ▲ 34.6 | 1.9 | ▲ 35.1 | ▲ 6.2 | ▲ 28.4 | ▲ 4.8 |
| | 6月 | 11.6 | ▲ 1.3 | ▲ 11.1 | ▲ 6.3 | 2.7 | ▲ 17.0 | 16.2 | ▲ 14.8 | 3.5 |
| | 7月 | ▲ 1.4 | ▲ 2.9 | ▲ 12.3 | ▲ 19.1 | 1.4 | ▲ 15.8 | 8.1 | ▲ 12.4 | 3.1 |
| | 8月 | 1.7 | ▲ 1.9 | ▲ 12.2 | ▲ 17.7 | 2.4 | ▲ 13.8 | 3.9 | ▲ 6.9 | 2.2 |
| | 9月 | 0.0 | ▲ 8.7 | ▲ 24.4 | ▲ 24.1 | 1.5 | ▲ 16.0 | ▲ 24.3 | ▲ 8.1 | ▲ 7.0 |
| | 10月 | ▲ 0.3 | 6.4 | ▲ 0.4 | ▲ 4.0 | 3.6 | 16.7 | 27.3 | ▲ 0.6 | 7.3 |
| | 11月 | 0.1 | 0.6 | ▲ 10.1 | ▲ 7.7 | 0.3 | 3.0 | 26.2 | ▲ 10.2 | 2.8 |
| | 12月 | ▲ 0.6 | ▲ 0.2 | ▲ 9.5 | ▲ 4.5 | ▲ 1.0 | 4.4 | 15.9 | ▲ 8.4 | 0.9 |
| 21 | 1月 | ▲ 1.7 | ▲ 2.4 | ▲ 17.4 | ▲ 17.8 | ▲ 0.1 | 6.0 | 12.5 | ▲ 9.6 | ▲ 2.7 |
| | 2月 | 3.1 | ▲ 1.5 | ▲ 10.0 | ▲ 17.4 | ▲ 2.0 | 6.0 | 11.2 | ▲ 9.7 | 0.7 |
| | 3月 | 1.2 | 5.2 | 7.3 | 13.0 | ▲ 0.5 | 11.0 | 14.9 | 5.8 | 3.7 |
| | 4月 | ▲ 4.5 | 12.0 | 43.6 | 63.7 | ▲ 0.2 | 27.2 | 24.2 | 24.9 | 2.1 |

(出所) 経済産業省「商業動態統計」

〇4月の小売業販売額は3月から大幅に減少。緊急事態宣言等による店舗の休業等が影響

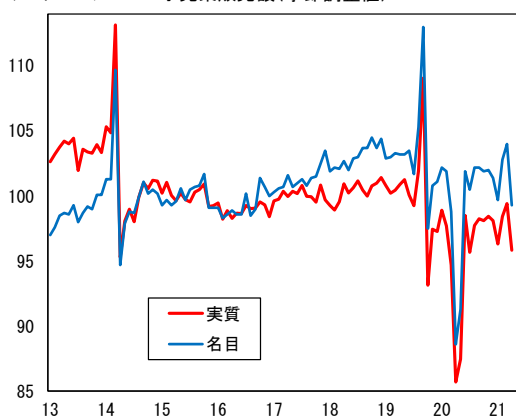
経済産業省より発表された4月の小売業販売額は前年比+12.0%と市場予測値(コンセンサス: 同+15.3%、レンジ: 同+9.3%~同+20.8%)を下回る結果となった。4月は前年比二桁増となったものの、昨年一回目の緊急事態宣言の影響で大きく減少した裏がでたことによるものであり、新型コロナウイルスの影響のない2019年4月と比較すると▲3.7%減少している。また、前月比では▲4.5%と大幅な減少となった。4月は一部地域を対象としたまん延防止等重点措置の適用、緊急事態宣言の発令による人出の減少や商業施設の営業自粛・時短営業が実施されたことなどから、3月から大きく下振れた。

価格変動の影響を考慮した実質値(実質化と季節調整は第一生命経済研究所)では、小売業販売額は前月比▲3.6%の大幅低下となった。業種別(実質値、季節調整値)でみると、飲食料品小売業(同+0.6%)、燃料小売業(同+0.3%)が増加となった一方、百貨店等の各種商品小売業(同▲3.6%)や家電量販店等の機械器具小売業(同▲0.9%)、織物・衣服・身の回り品小売業(同▲9.0%)などが減少に寄与した。緊急事態宣言等の影響で営業自粛、時短営業などを実施した業種を中心に4月の小売業販売額は3月から下振れた。また、自動車小売業が同▲4.9%と大幅に減少、4月の販売額全体を大きく下押しした。自動車販売の大幅減少は緊急事態宣言等の影響に加え、半導体不足による自動車の減産が影響しているとみられる。

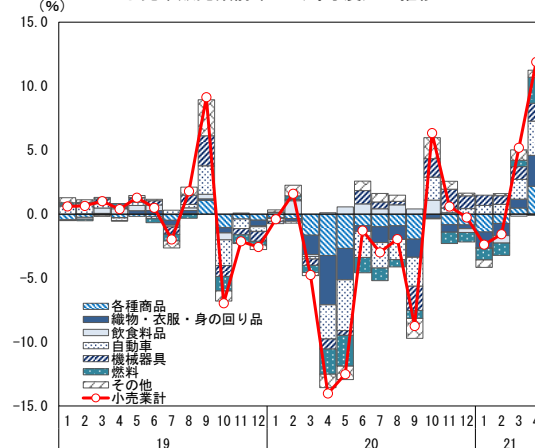
○緊急事態宣言等の影響により、目先も下押し圧力が続く。所得環境の悪化も消費回復の重荷に

4月は大幅な落ち込みとなった小売業販売額であるが、目先も緊急事態宣言等の下押し圧力を受ける。5月に入り、緊急事態宣言等の対象地域が拡大したほか、期限も延長された。5月も引き続き商業施設の営業自粛・時短営業が続いたほか、全国的に4月からさらに人出が減少しており、5月の小売業販売額はさらに落ち込む可能性がある。また、3県を対象としたまん延防止等重点措置の期限は6月13日、5県を対象とした同措置と10都府県を対象とした緊急事態宣言の期限は6月20日となっている。足もとでは商業施設等への休業要請が緩和されているほか、街中の人出も持ち直してきているものの、6月以降も消費への下押し圧力が続くことから、小売業販売額の回復は限定的なものにとどまるだろう。また、所得環境の悪化も回復の頭を押さえるとみられる。経団連の「2021年春季労使交渉・大手企業業種別回答状況（第1回集計）」によれば、21年の賃上げ率は1.82%と前年を下回っているほか、20年度の業績悪化に伴い夏のボーナスも減少が見込まれている。加えて、感染防止策の影響を大きく受ける対面サービス業を中心に業績は下振れており、業種によっては所得の回復がさらに遅れるとみられる。足もとではワクチン接種が進むなど好材料がみられるも、感染防止策が続くことや所得環境の悪化が消費回復の頭を押さえるとみられる。

(15年=100) 小売業販売額(季節調整値)



小売業販売額前年比(寄与度)の推移



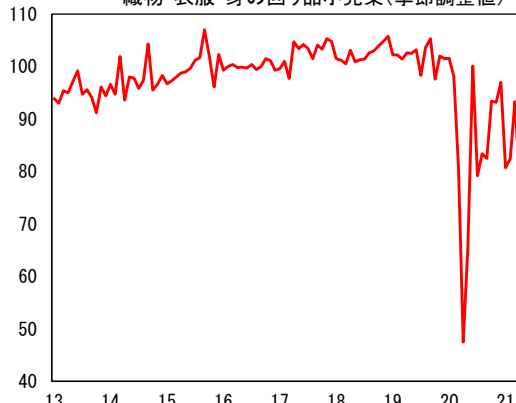
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(15年=100) 各種商品小売業(季節調整値)

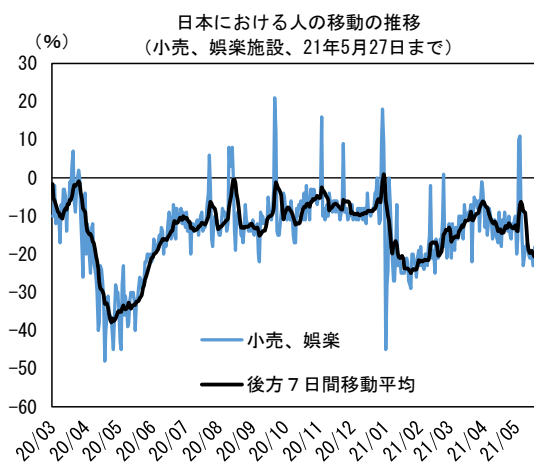
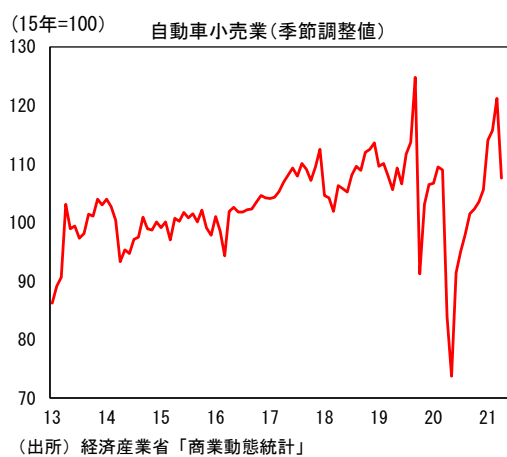


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(15年=100) 織物・衣服・身の回り品小売業(季節調整値)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



※基準値は、2020年1月3日～2月6日における該当曜日の中央値
(出所) Google「COVID-19 Community Mobility Reports」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

